

河内長野フロントヤード改革効果促進業務プロポーザルに関する質問への回答

質問	回答
・仕様書内に「書かない窓口システムや窓口予約システム等を導入し、住民との接点の多様化を図るフロントヤード改革を予定している。」と記載がありましたが、すでに導入済みや、今後の導入計画があれば、サービス内容と実施時期を具体的にお聞かせください。	・書かない窓口として、AIを搭載した申請書作成端末を8月より設置した。また同じAIを搭載した庁舎案内端末を総合案内と来庁者駐車場入口に設置した。 ・窓口予約システムを導入しており、10月から窓口予約を開始する予定である。 ・市庁舎内及び市内コミュニティセンターにコンビニ交付が可能なマルチコピー機を7月に設置した。
・住民サービスであるため、当然市民に広く周知する必要がありますが、特に周知が必要（強化する必要があると）と考える、属性などがあればお聞かせください。 ※子育て世代、高齢者など。また、利用率等を鑑み強化したいターゲット層など	各施策によって強化したいターゲットは異なります。 コンビニ交付促進や書かない窓口の利用については、本市のモデルが「人口減少・少子高齢化が急速に進行するオールニュータウンを抱える団体におけるデジタルディバイド対策」であることから、高齢者層のデジタルとの接点増加を図りたい。 一方で、窓口予約は、ライフイベント関係の手続きが多い若年層に対して強化したい。
・庁内デジタルサイネージ等に放映する15秒程度の動画を作成すること。と記載がありますが、サイネージ動画は、縦型動画でしょうか。音声あり・なしについてもご教授ください。	デジタルサイネージは縦に設置しますので、縦型動画を想定しております。また、音声ありを想定しておりますが、意図的に音声なしの提案をいただくことも可能です。
・貴市所有の情報発信ツール(市HPや、SNSなど)は、広報の面において、協力連携できるものと想定してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。